

# 2022年度 第2四半期 決算説明資料

2022年8月9日  
株式会社オークネット  
(東証プライム：3964)



# 目次

<b>1. 2022年度 第2四半期累計 決算概要</b>	P. 2
・ 連結業績	P. 3
・ ハイライト	P. 4
<b>2. セグメント別実績</b>	P. 8
・ 四輪事業	P. 9
・ デジタルプロダクツ事業	P. 11
・ コンシューマープロダクツ事業	P. 13
・ その他	P. 15
<b>3. トピックス</b>	P. 16
・ 業績予想修正	P. 17
・ 自己株式の取得及び自己株式の公開 買付けに関するお知らせ	P. 19
・ TCFD提言への対応	P. 20
<b>4. 参考資料</b>	P. 21

# 1. 2022年度 第2四半期累計 決算概要

## 2. セグメント別実績

## 3. トピックス

## 4. 参考資料

# 2022年度 第2四半期累計 連結業績

- ▶ 上半期は厳しい事業環境を前提としていたが、デジタルプロダクツ事業とコンシューマープロダクツ事業の好調により営業利益は前年同期比+13.0%を達成
- ▶ 「収益認識に関する会計基準」による影響は軽微（詳細はp.22を参照）

(百万円)	FY2021 2Q累計	FY2022 2Q累計	YoY	FY2022 業績予想	進捗率
売上高	18,611	<b>20,603</b>	-	38,329	53.8%
営業利益	3,515	<b>3,972</b>	+13.0%	6,000	66.2%
営業利益率	18.9%	<b>19.3%</b>	+0.4pt	15.7%	
EBITDA	3,948	<b>4,390</b>	+11.2%	-	-
経常利益	3,718	<b>4,104</b>	+10.4%	6,150	66.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,383	<b>2,467</b>	+3.5%	4,054	60.9%
1株当たり四半期純利益	85円95銭	<b>89円23銭</b>	+3円28銭	145円03銭	61.5%

※2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、2022年12月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっていることから、対前年同期増減率は記載しておりません。以下ページの前年同期増減比率についても同様といたします。

# 2022年度 第2四半期（3か月間） ハイライト

売上高

**10,101**百万円

前年同期比 -%

営業利益

**1,828**百万円

前年同期比 **+7.1%**

経常利益

**1,921**百万円

前年同期比 **+12.9%**

親会社株主に帰属する四半期純利益

**1,161**百万円

前年同期比 **+5.1%**

## 四輪事業

売上高 2,966百万円(-%)

セグメント利益 951百万円(+3.1%)

- 中古車の供給不足は続いており出品台数減少
- 5月以降、ライブ中継オークションや落札代行サービスにおいて落札台数が増加し、2Q（3か月間）は前年同期比で増益

## デジタルプロダクツ事業

売上高 1,884百万円(-%)

セグメント利益 1,269百万円(+12.9%)

- 流通台数は前年同期比で減少
- 会員数の増加によるバイイングパワーの増大に加え、円安も追い風となり取扱高が増加し、増収増益

## コンシューマープロダクツ事業

売上高 4,299百万円(-%)

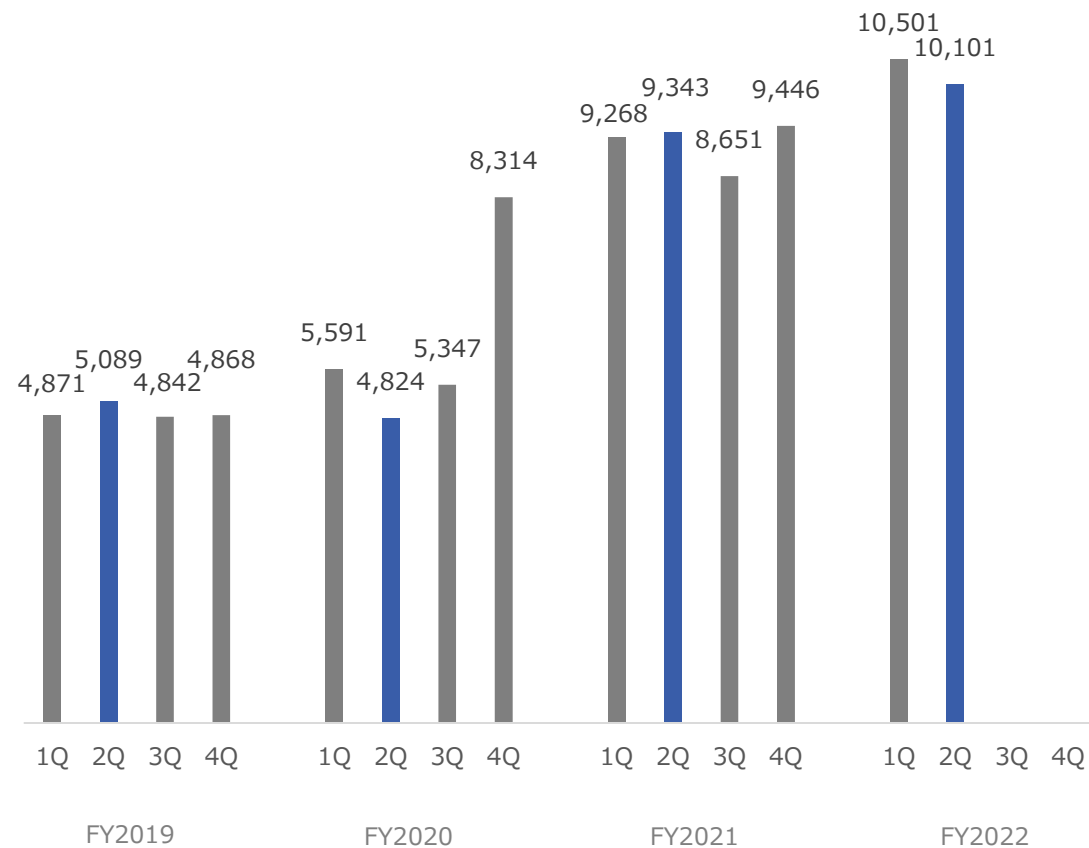
セグメント利益 398百万円(+17.0%)

- B2B事業では、出品点数の増加や平均成約単価の高値維持によりオークション関連収益増加
- C向け事業では、プロダクトマネジメントの強化等により、増収増益

# 2019~2022年度 四半期別連結業績推移

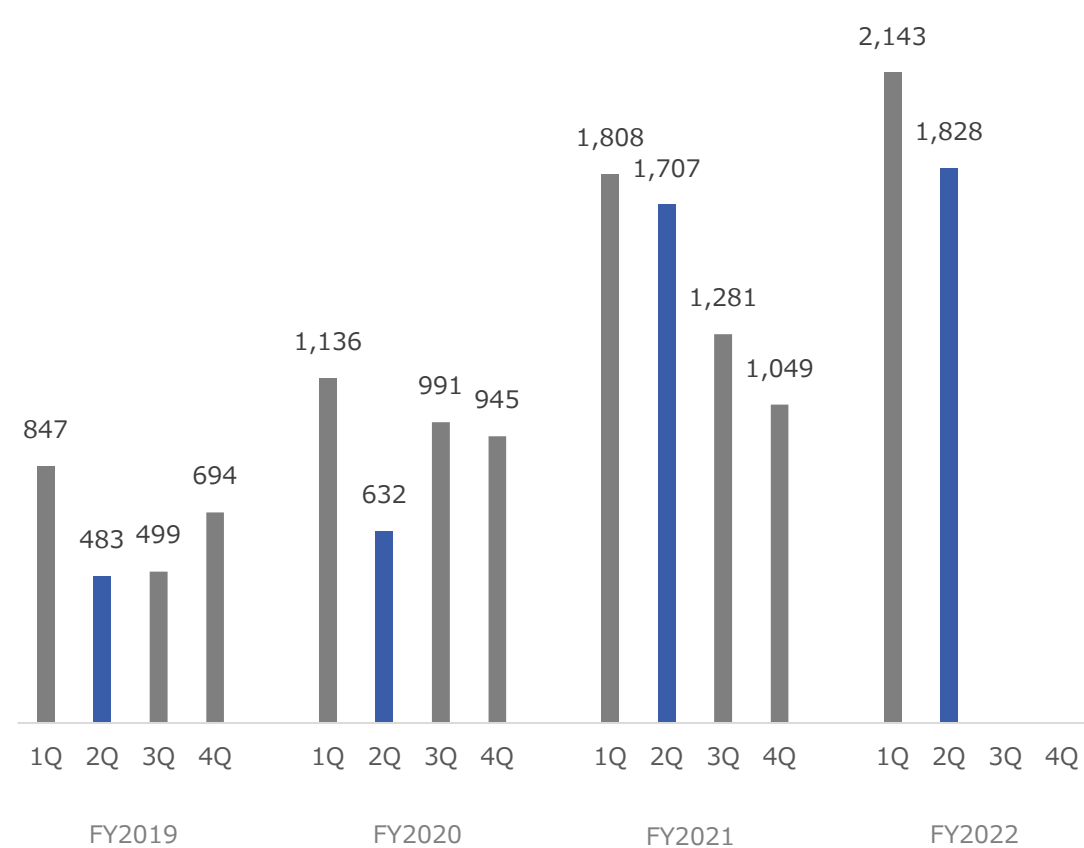
## 売上高

(百万円)



## 営業利益

(百万円)

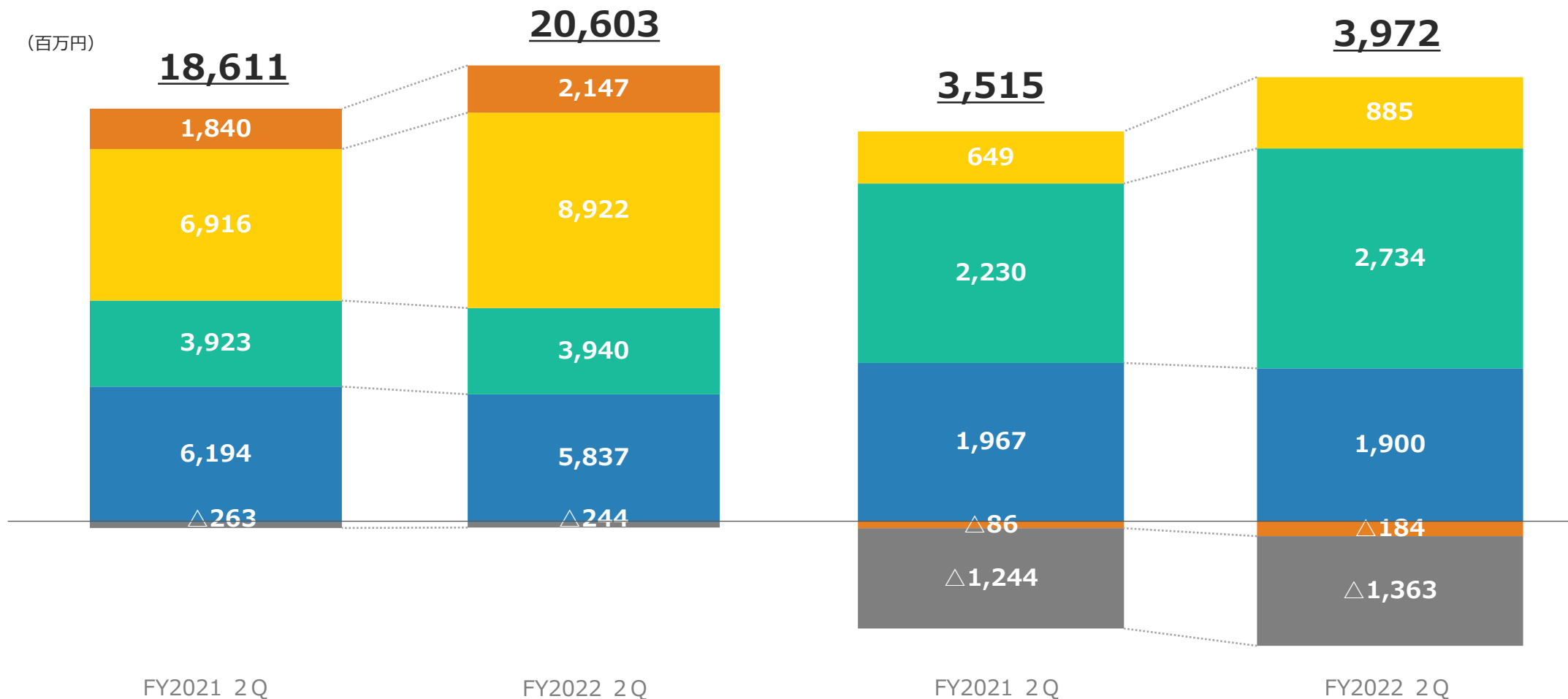


# 2022年度 第2四半期累計 セグメント別増減分析

- 四輪事業
- デジタルプロダクツ事業
- コンシューマープロダクツ事業
- その他
- 調整

売上高

営業利益



# 2022年度 第2四半期累計 セグメント別取扱高



取扱高総額

**245,164** 百万円 (前年同期比+5.6%)

## 四輪事業

**185,438**百万円  
(前年同期比+4.0%)



## デジタルプロダクツ事業

**25,787**百万円  
(前年同期比+5.9%)



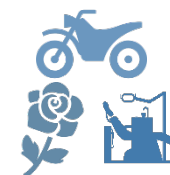
## コンシューマープロダクツ事業

**23,649**百万円  
(前年同期比+20.4%)



## その他

**10,289**百万円  
(前年同期比+6.0%)



※ 中古バイク事業、花き事業及び医療事業等  
※ 花き事業については、2021年4Qより (株)グランブーケ大多喜の取扱高を合算しております

※ 取扱高は、各事業における当社のサービスを通じて流通した商品の成約代金や商品販売による売上高の合計です



1. 2022年度 第2四半期累計 決算概要

2. セグメント別実績

3. トピックス

4. 参考資料

# 2022年度 第2四半期累計 実績

- ▶ 前年同期比で減収減益（売上高 -%、セグメント利益 △3.4%）
- ▶ 中古車の供給不足が続いており、成約/落札台数が落ち込んだ結果、オークション関連収益減少
- ▶ 中古車情報誌認定検査の検査台数は引き続き好調に推移し、車両検査サービスは増収増益
- ▶ 今後の状況については注視が必要だが、落札促進施策の強化による落札シェアの増加や、円安の影響による輸出業者会員の落札増加等により、2Q（3か月間）は前年同期比で増益

### 売上構成※

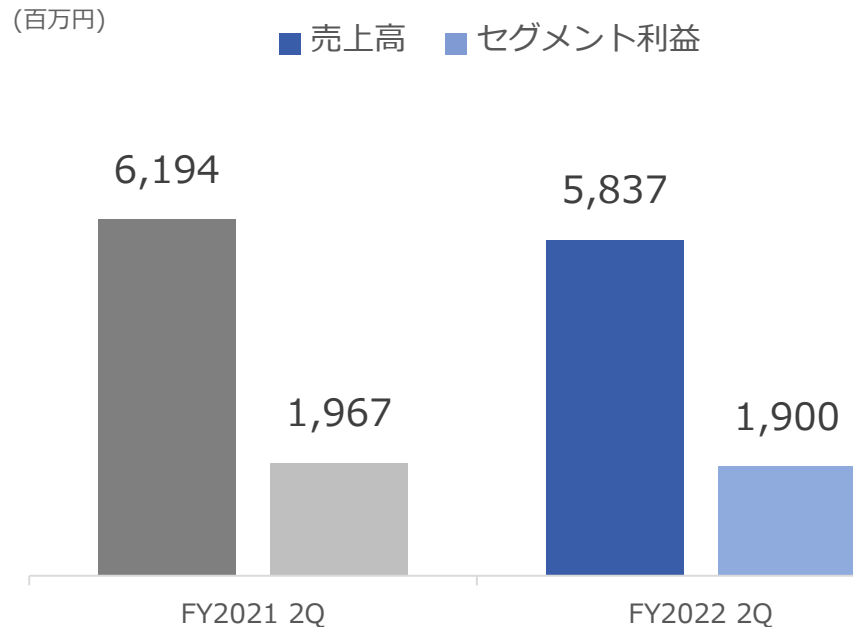
(百万円)	FY2021 2Q 累計 (旧基準)	FY2022 2Q 累計 (新基準)	YoY
オークション関連収益	4,382	<b>4,001</b>	-
商品販売関連収益	152	<b>176</b>	-
その他	1,593	<b>1,590</b>	-
内部売上高又は振替高	65	<b>68</b>	-
<b>売上高</b>	<b>6,194</b>	<b>5,837</b>	-

※セグメントの売上構成の詳細開示に伴って、売上構成区分の見直しを行いました  
2021年の売上構成は、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けておりません

### KPI

		FY2021 2Q 累計	FY2022 2Q 累計	YoY
オークション関連	取扱高 (百万円)	178,389	<b>185,438</b>	+4.0%
	総成約/落札台数 (台)	236,203	<b>218,453</b>	△7.5%
会費	会員数 (会員)	14,420	<b>14,706</b>	+2.0%
検査料	検査台数※ (台)	532,575	<b>538,234</b>	+1.1%

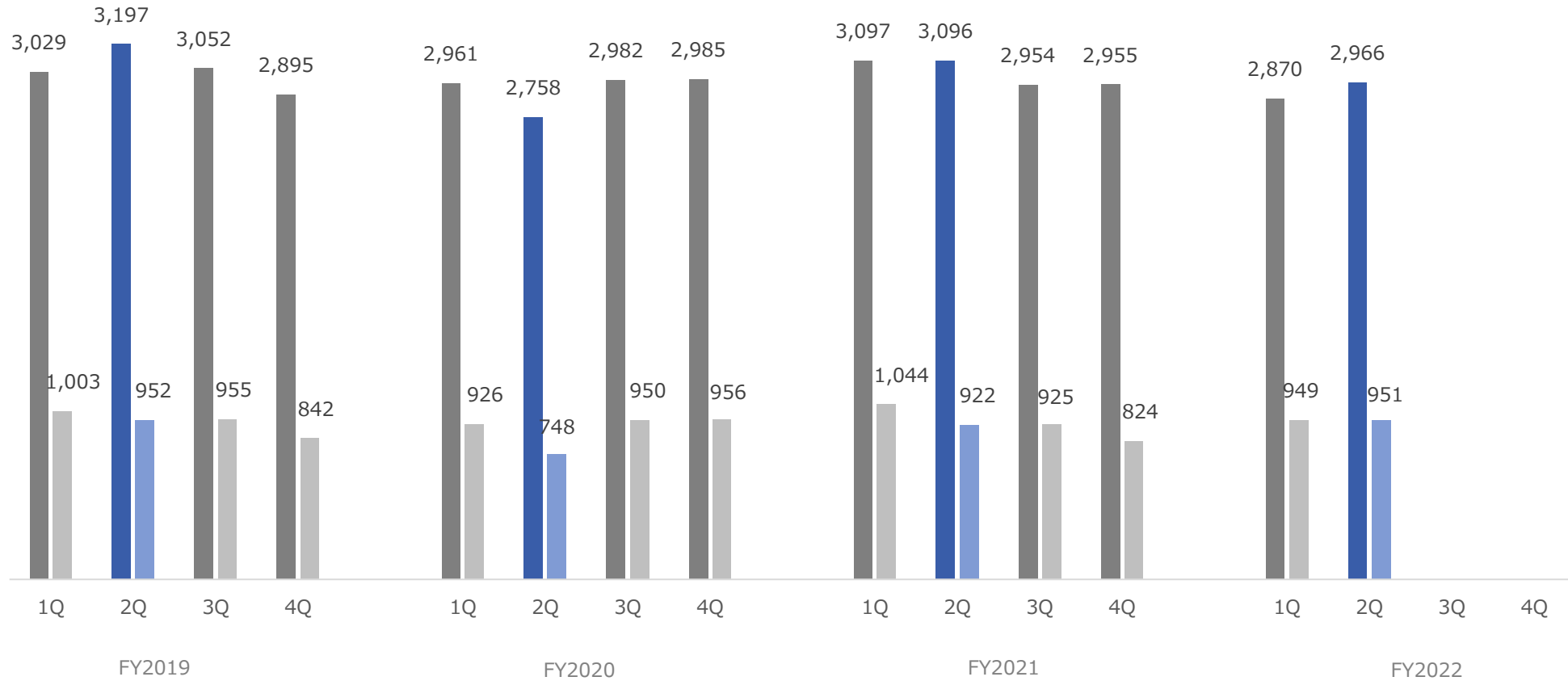
※ 中古バイク検査を含みます



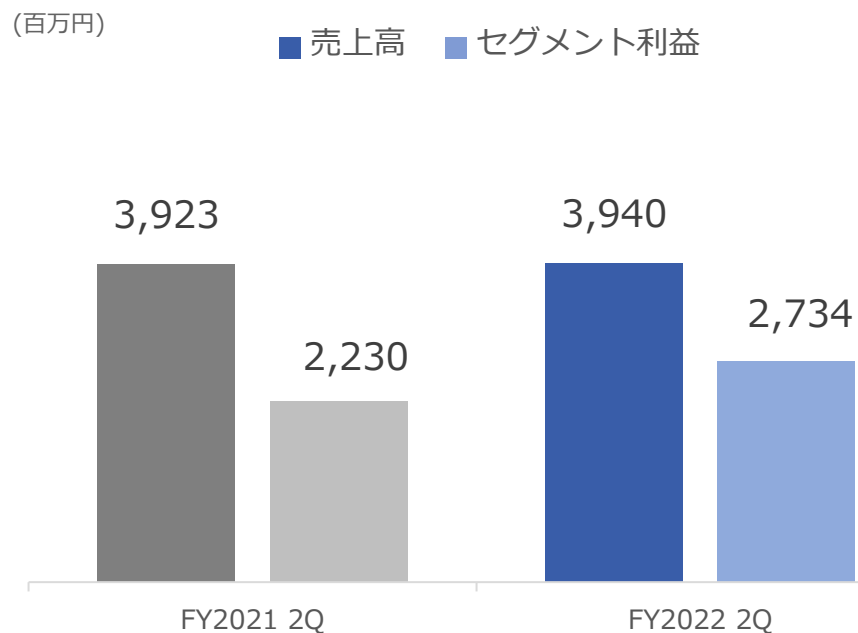
# 2019~2022年度 四半期別実績推移

(百万円)

■ 売上高 ■ セグメント利益



- ▶ 前年同期比で増収増益（売上高 -%、セグメント利益 +22.6%）
- ▶ 1Qに引き続き流通台数は前年同期比で減少したものの、新規バイヤー数やオークションの参加バイヤー数は継続して増加したことに加え、円安も追い風となって取扱高が拡大し、増収増益
- ▶ 昨年の米国事業撤退により赤字が解消され利益率が改善



## 売上構成※

(百万円)	FY2021 2Q 累計 (旧基準)	FY2022 2Q 累計 (新基準)	YoY
オークション関連収益	3,436	3,829	-
商品販売関連収益	486	110	-
その他	-	-	-
内部売上高又は振替高	-	-	-
<b>売上高</b>	<b>3,923</b>	<b>3,940</b>	-

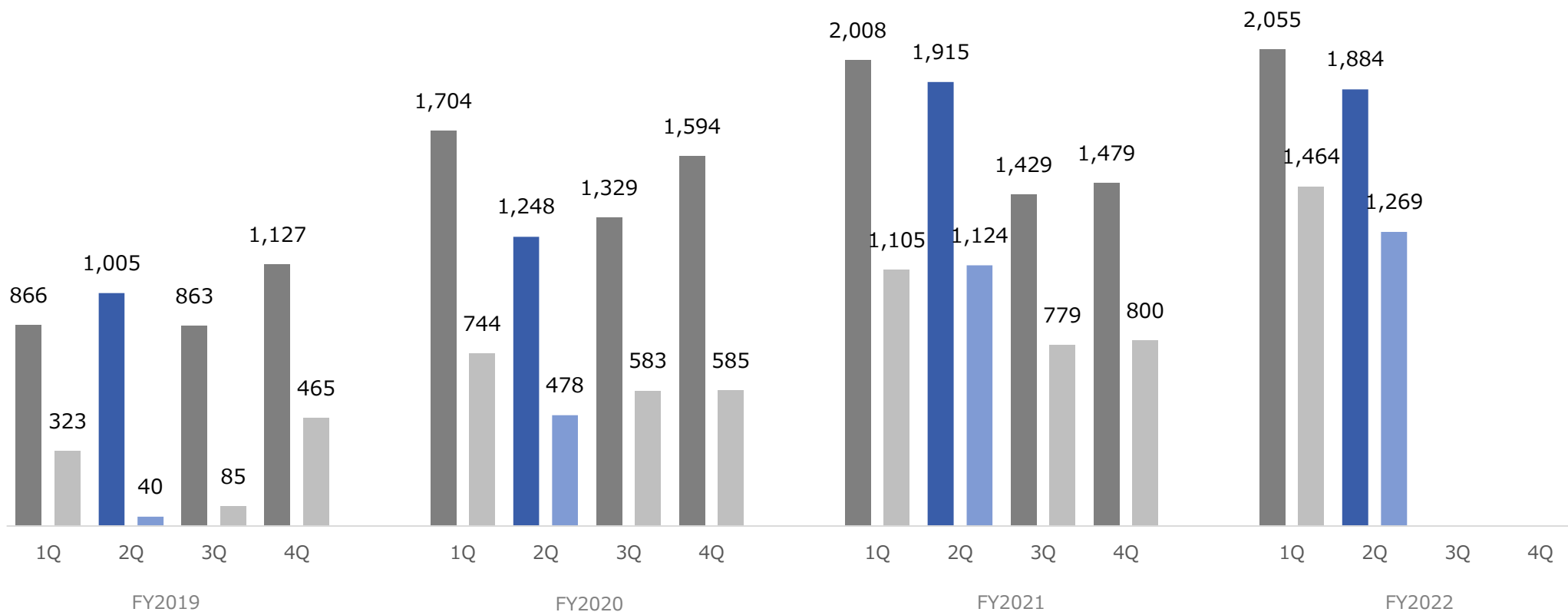
※セグメントの売上構成の詳細開示に伴って、売上構成区分の見直しを行いました  
2021年の売上構成は、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けておりません

## KPI

		FY2021 2Q 累計	FY2022 2Q 累計	YoY
取扱高	(百万円)	24,355	25,787	+5.9%
流通台数	国内事業 (台)	1,318,191	1,025,120	△22.2%
	米国事業 (台)	270,685	-	-
会員数	(会員)	855	1,132	+32.4%

(百万円)

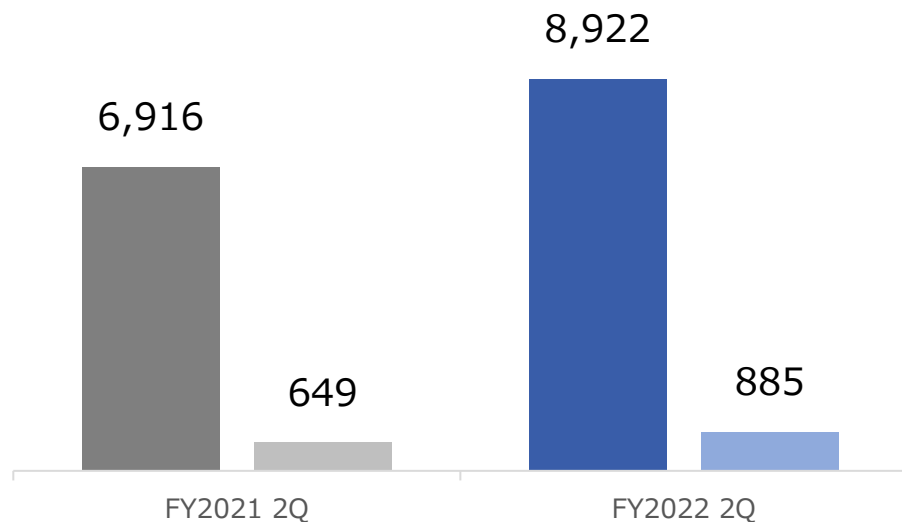
■ 売上高 ■ セグメント利益



- 前年同期比で増収増益（売上高 -%、セグメント利益 +36.3%）
- B2B事業では、出品促進施策により出品点数が増加したことに加え、平均成約単価が高値を維持したことでオークション関連収益が増加
- C向け事業では、昨年に引き続きプロダクトマネジメントの強化により安定した収益を獲得し、結果増収増益

(百万円)

■ 売上高 ■ セグメント利益



売上構成※

(百万円)	FY2021 2Q 累計 (旧基準)	FY2022 2Q 累計 (新基準)	YoY
オークション関連収益	1,063	1,214	-
商品販売関連収益	5,842	7,695	-
その他	10	12	-
内部売上高又は振替高	-	-	-
<b>売上高</b>	<b>6,916</b>	<b>8,922</b>	-

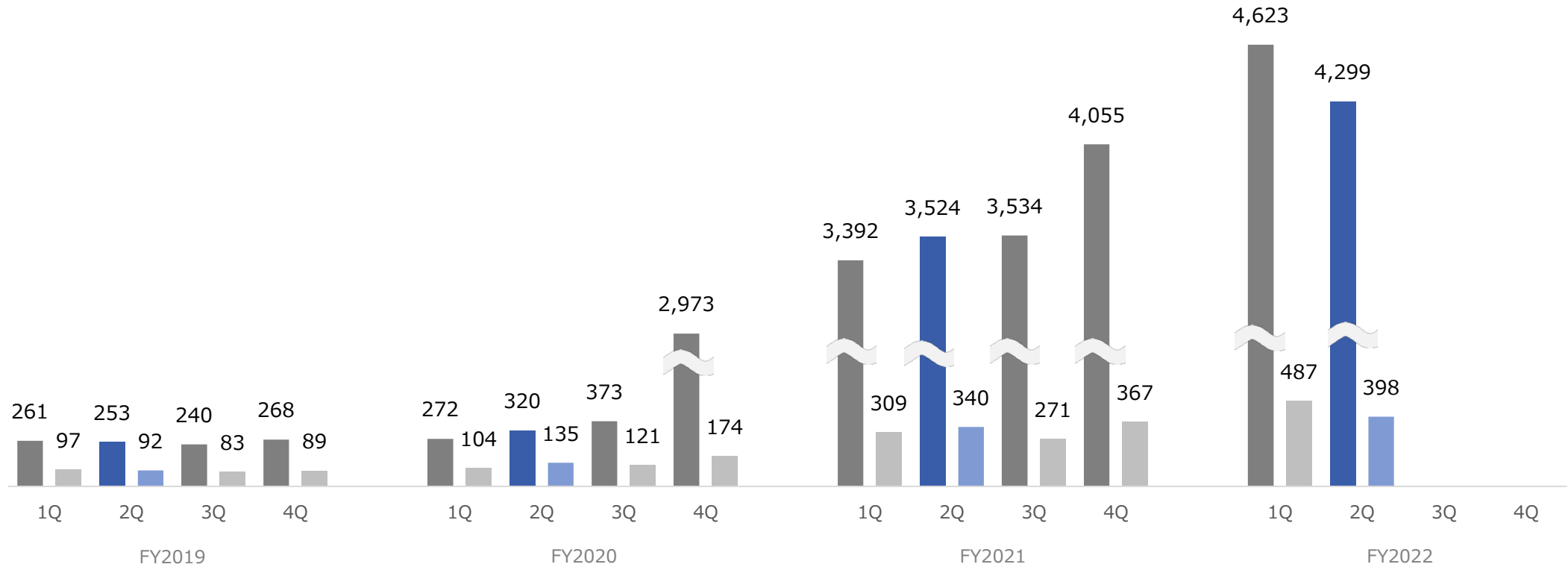
※セグメントの売上構成の詳細開示に伴って、売上構成区分の見直しを行いました  
2021年の売上構成は、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けておりません

KPI

		FY2021 2Q 累計	FY2022 2Q 累計	YoY
B2B事業	取扱高 (百万円)	15,321	18,356	+19.8%
	成約点数 (点)	326,465	335,412	+2.7%
	会員数 (会員)	2,311	2,824	+22.2%
C向け事業	取扱高 (百万円)	4,319	5,292	+22.5%

(百万円)

■ 売上高 ■ セグメント利益

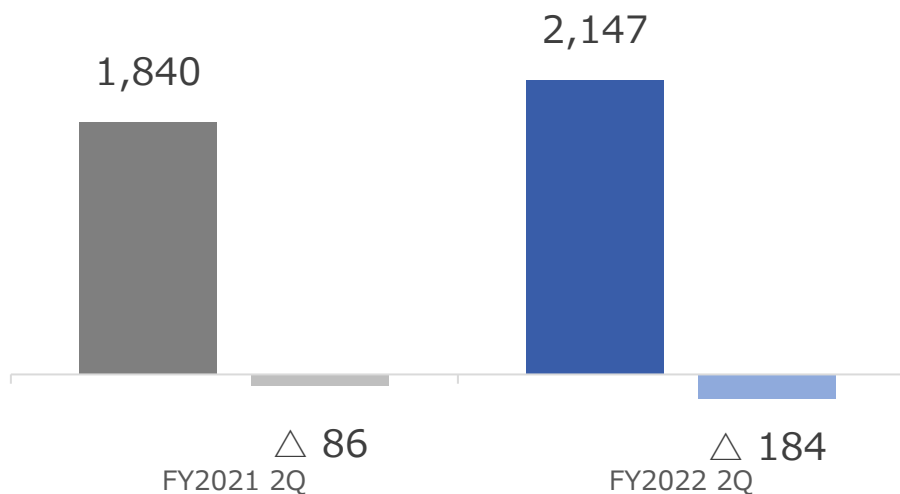


# 2022年度 第2四半期累計 実績

- 前年同期比で増収減益
- 花きにおいて、切花の単価増加により取扱高が増加し前年同期比で増収
- 従来のオークネットの花き事業に加え、2021年4QにPL連結した株式会社グランブーケ大多喜が好調に推移
- 中古バイクにおいて、新しい試みとしてサブスクリプションサービスである個人向け短期車両リース事業に注力しており、投資先行。2Q（3か月間）において、稼働台数増加に伴い、順調に拡大中

(百万円)

■ 売上高 ■ セグメント利益



売上構成※

(百万円)	FY2021 2Q 累計 (旧基準)	FY2022 2Q 累計 (新基準)	YoY
オークション関連収益	942	<b>973</b>	-
商品販売関連収益	145	<b>428</b>	-
その他	553	<b>569</b>	-
内部売上高又は振替高	198	<b>176</b>	-
<b>売上高</b>	<b>1,840</b>	<b>2,147</b>	-

※セグメントの売上構成の詳細開示に伴って、売上構成区分の見直しを行いました  
2021年の売上構成は、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けておりません



1. 2022年度 第2四半期累計 決算概要

2. セグメント別実績

**3. トピックス**






4. 参考資料

# 2022年度 業績予想修正

- ▶ 上期は厳しい事業環境を予想していましたが想定を上回る進捗となりました。上期業績を反映し、業績予想を下記の通り修正いたします
- ▶ 連結配当性向30%を目標として、継続的な配当を行うことを基本方針としております。この方針に基づき、当期末の配当予想は3円増配とし、年間47円といたします

(百万円)	FY2022 期初予想 (2022/2/14)	FY2022 修正予想 (2022/8/9)
売上高	38,329	<b>40,270</b>
営業利益	6,000	<b>6,480</b>
営業利益率	15.7%	<b>16.1%</b>
経常利益	6,150	<b>6,743</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,054	<b>4,288</b>
1株当たり当期純利益	145円03銭	<b>155円07銭</b>
1株当たり配当金	44円00銭	<b>47円00銭</b>
配当性向	30.3%	<b>30.3%</b>

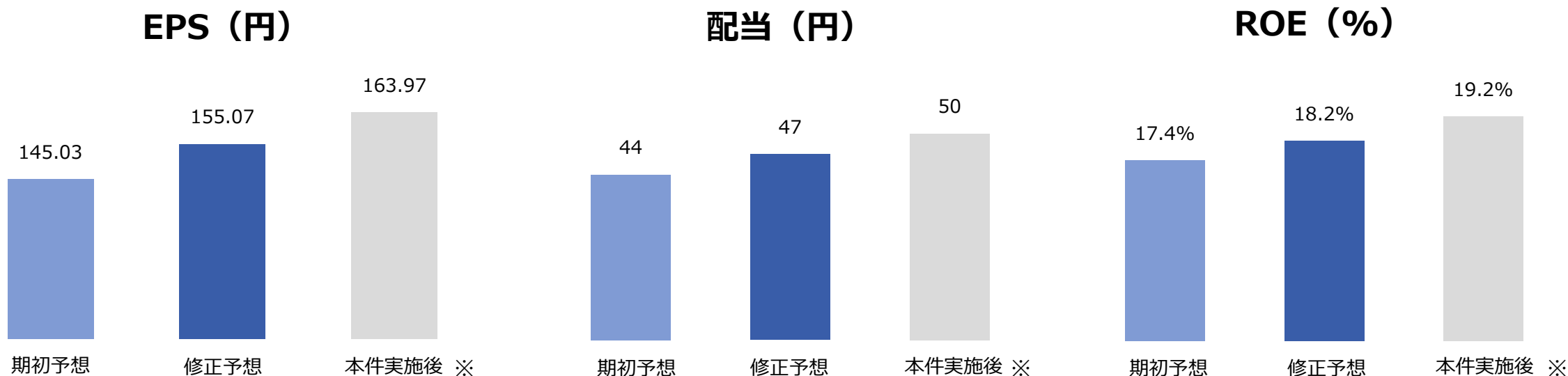
# 2022年度 業績予想修正 下期見込み

	<b>四輪事業</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>半導体不足による影響が解消される目途は立っておらず、昨年と同様に安定的な収益貢献を見込む</li></ul>
	<b>デジタル プロダクツ事業</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>昨年から流通台数は厳しい状況であるが、下期に新型スマートフォンの発表があることを前提として流通台数の改善を見込む</li><li>引き続き会員数の増加と、オークションシステムの改善</li></ul>
	<b>コンシューマー プロダクツ事業</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>相場の落ち着きにより成約単価減少の懸念はあるものの、海外バイヤー網の強化や、オークションプラットフォームの活性化に引き続き注力</li><li>ギャラリーレアとのシナジーを追求</li></ul>
	<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>花き事業では東京砦花き園芸市場、グランブーケ大多喜とのシナジーを追求</li><li>中古バイク事業のサブスクリプションサービスなどに注力</li></ul>
	<b>共通</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>人財、既存事業、新規事業、研究開発への投資</li><li>中期的なM&amp;Aの実施等</li></ul>

# 自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ

- 資本政策の一環として、自己株式の取得及び自己株式の公開買付けを実施いたします

	概要
買付予定株式数	普通株式1,650,000株（上限）（発行済み株式数の5.90%）
買付等の価格	普通株式1株につき1,774円
取得価額総額	2,927,100,000円（上限）
公開買付期間	2022年8月10日（水）～2022年9月7日（水）



※ 応募予定の1,500,000株を全て取得・消却したと想定し、連結配当性向30%を維持した場合の当社概算による参考数値であり、決算短信に記載している数値とは異なります。なお、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

# TCFD提言への対応

- ▶ 気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures、以下：TCFD）」の提言への賛同を表明し、WebサイトにてTCFDが提言するフレームワークに基づいて情報開示を実施

参考：<https://www.aucnet.co.jp/tcf/>

ガバナンス	戦略	リスク管理	指標と目標
サステナビリティ委員会を設立	シナリオの策定及びリスクと機会の分析	全社リスク管理プロセスの中で管理	総循環型流通価値（GCV）を経営指標として設定



1. 2022年度 第2四半期累計 決算概要
2. セグメント別実績
3. トピックス
- 4. 参考資料**

## 収益認識会計基準等の適用による影響額

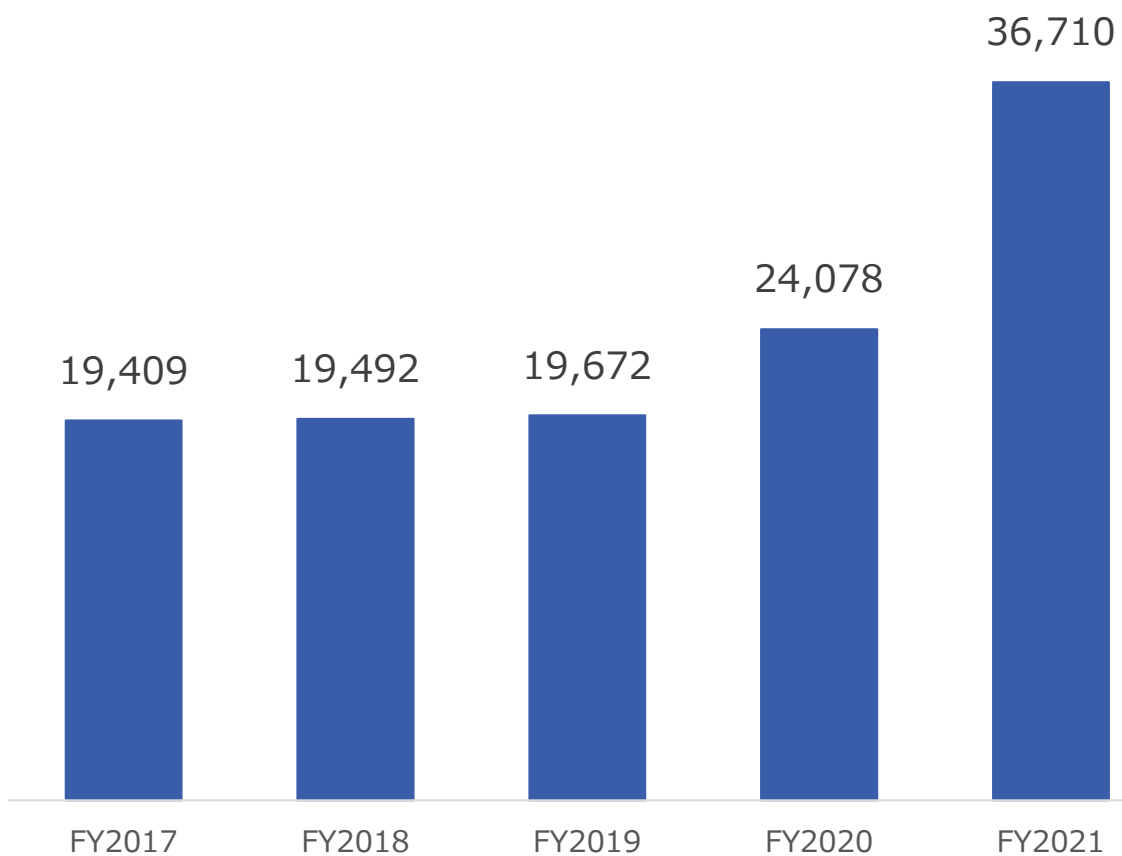
- ▶ 従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上高は195百万円減少
- ▶ なお、セグメント利益に与える影響は軽微

(百万円)	売上高			
	FY2021 2Q累計	FY2022 2Q累計 (旧基準)	FY2022 2Q累計 (新基準)	新基準-旧基準
四輪事業	6,194	6,153	<b>5,837</b>	△316
デジタルプロダクツ事業	3,923	3,880	<b>3,940</b>	60
コンシューマープロダクツ事業	6,916	8,851	<b>8,922</b>	71
その他	1,840	2,157	<b>2,147</b>	△9
調整額	△263	△244	<b>△244</b>	0
連結	18,611	20,798	<b>20,603</b>	△195

# 2017~2021年度 年度別連結業績推移

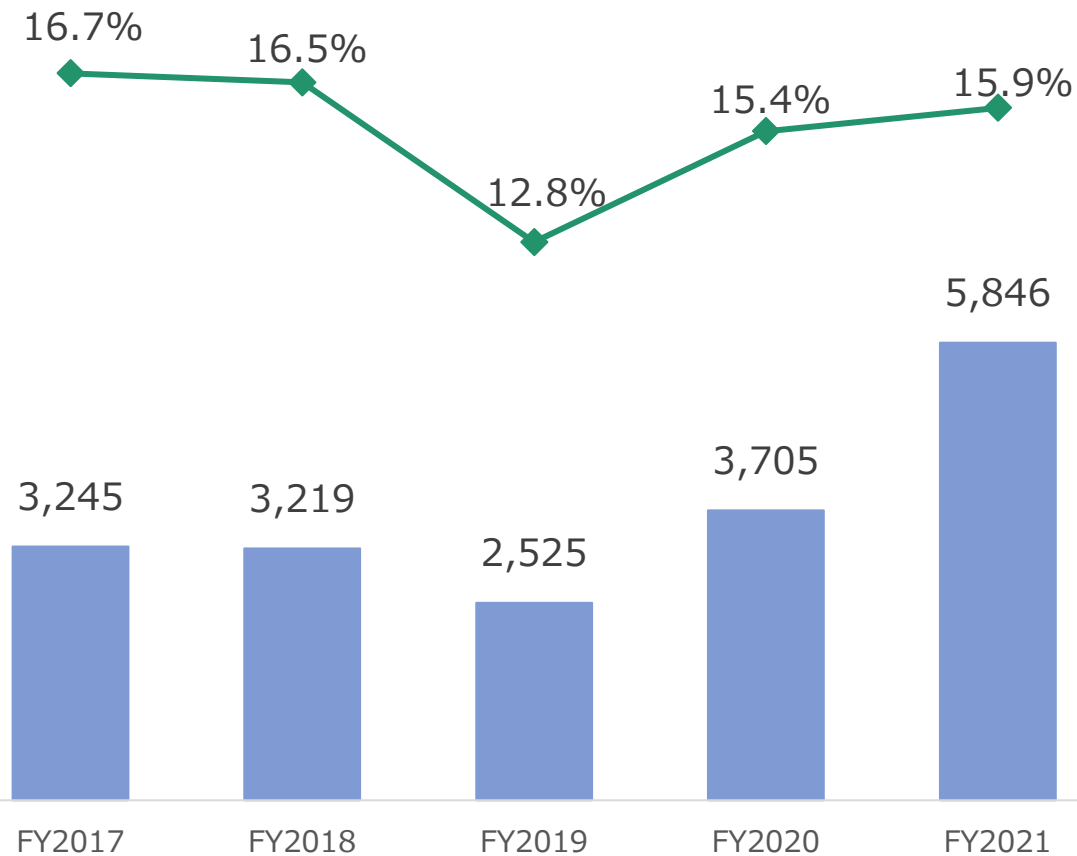
(百万円)

■ 売上高



(百万円)

■ 営業利益 ◆ 営業利益率





# 連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

資産 (百万円)	FY2021 12月末	FY2022 6月末	増減
流動資産	30,018	<b>35,975</b>	+5,956
現金及び預金	20,615	<b>24,542</b>	+3,926
オークション貸勘定	3,959	<b>5,792</b>	+1,832
その他	5,442	<b>5,639</b>	+197
固定資産	6,804	<b>6,604</b>	△199
有形固定資産	1,639	<b>1,660</b>	+20
無形固定資産	1,616	<b>1,355</b>	△260
その他	3,549	<b>3,588</b>	+39
資産合計	36,822	<b>42,579</b>	+5,756

負債・純資産 (百万円)	FY2021 12月末	FY2022 6月末	増減
流動負債	11,039	<b>15,178</b>	+4,138
オークション借勘定	6,728	<b>11,204</b>	+4,476
その他	4,310	<b>3,973</b>	△337
固定負債	3,081	<b>3,153</b>	+72
退職給付に係る負債	1,790	<b>1,825</b>	+35
その他	1,290	<b>1,328</b>	+37
負債合計	14,120	<b>18,331</b>	+4,210
純資産合計	22,701	<b>24,247</b>	+1,545
負債・純資産合計	36,822	<b>42,579</b>	+5,756

(百万円)	FY2021 2Q	FY2022 2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,031	<b>5,252</b>	+220
投資活動によるキャッシュ・フロー	282	△ <b>388</b>	△671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△304	△ <b>1,131</b>	△826
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,744	<b>23,412</b>	+2,667

# KPI

			FY2019				FY2020			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
四輪事業	オークション関連	取扱高 (百万円)	79,678	75,559	80,728	73,206	79,527	63,462	87,032	81,057
		総成約・落札台数 (台)	111,672	106,321	111,119	104,544	109,099	96,156	115,610	109,326
	会費	会員数 (会員)	14,173	14,117	14,112	14,146	14,108	14,104	14,267	14,362
	検査料※1	検査台数 (台)	249,240	248,504	258,677	252,425	258,903	223,430	229,815	259,900
デジタルプロダクツ事業	取扱高 (百万円)	5,858	5,494	5,178	7,985	9,562	7,605	7,887	9,024	
	流通台数	国内事業 (台)	378,049	406,546	414,670	502,514	591,735	520,791	487,494	543,592
		米国事業 (台)	-	-	-	-	89,869	59,611	194,169	308,478
	会員	会員数 (会員)	510	530	603	657	665	707	766	762
コンシューマープロダクツ事業※2	B2B事業	取扱高 (百万円)	2,681	2,673	2,542	2,696	2,768	3,720	4,349	6,543
		成約点数 (点)	86,262	84,546	80,950	90,729	96,292	96,093	113,711	142,530
		会員数 (会員)	1,715	1,724	1,781	1,815	1,857	1,943	1,876	2,160
	C向け事業	取扱高 (百万円)	-	-	-	-	-	-	-	1,654
			FY2021				FY2022			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
四輪事業	オークション関連	取扱高 (百万円)	90,705	87,684	81,561	83,806	84,641	<b>100,796</b>	-	-
		総成約・落札台数 (台)	119,786	116,417	107,334	103,635	104,115	<b>114,338</b>	-	-
	会費	会員数 (会員)	14,282	14,420	14,497	14,605	14,663	<b>14,706</b>	-	-
	検査料※1	検査台数 (台)	266,100	266,475	253,557	256,118	269,476	<b>268,758</b>	-	-
デジタルプロダクツ事業	取扱高 (百万円)	12,283	12,071	8,738	9,717	13,526	<b>12,261</b>	-	-	
	流通台数	国内事業 (台)	656,847	661,344	510,693	467,773	526,106	<b>499,014</b>	-	-
		米国事業 (台)	173,951	96,734	46,601	307	-	-	-	-
	会員	会員数 (会員)	800	855	922	989	1,044	<b>1,132</b>	-	-
コンシューマープロダクツ事業※2	B2B事業	取扱高 (百万円)	7,324	7,996	8,209	8,912	9,117	<b>9,239</b>	-	-
		成約点数 (点)	157,627	168,838	158,173	172,961	160,850	<b>174,562</b>	-	-
		会員数 (会員)	2,237	2,311	2,467	2,652	2,763	<b>2,824</b>	-	-
	C向け事業	取扱高 (百万円)	2,140	2,179	2,027	2,466	2,747	<b>2,544</b>	-	-

※1 中古バイク検査を含みます

※2 2020年度4Qより、ギャラリーレアによるKPIが各事業に合算となっております

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

